



大戸川ダムだより



第19号

2024年
10月発行

けしょうぎ

おうこう

安全祈願の化粧木（大戸川ダム右岸調査横坑試掘工事）



▲横坑入口の化粧木
（今回の工事では岐阜県から取り寄せました）

けしょうぎ

～化粧木を祀って工事の安全祈願をしています～

現在、大戸川ダム右岸調査横坑試掘工事（おうこう）で掘削中の横坑入口には、反り返った丸太の両端を牛の角のように仕上げた「化粧木」（けしょうぎ）（御神木、飾り木と呼ぶ場合も）が祀られています。

これは山の神様への敬意を表し、工事の安全を祈願する意味があり、トンネル工事などではかかせないものです。そのルーツは、伊勢神宮本殿の屋根飾り（ちぎ かつおぎ）（千木、鯉木）とも、宇佐神宮の鳥居とも言われています。

今後も、安全第一で工事を進めていきます。

令和6年度事業実施予定位置図

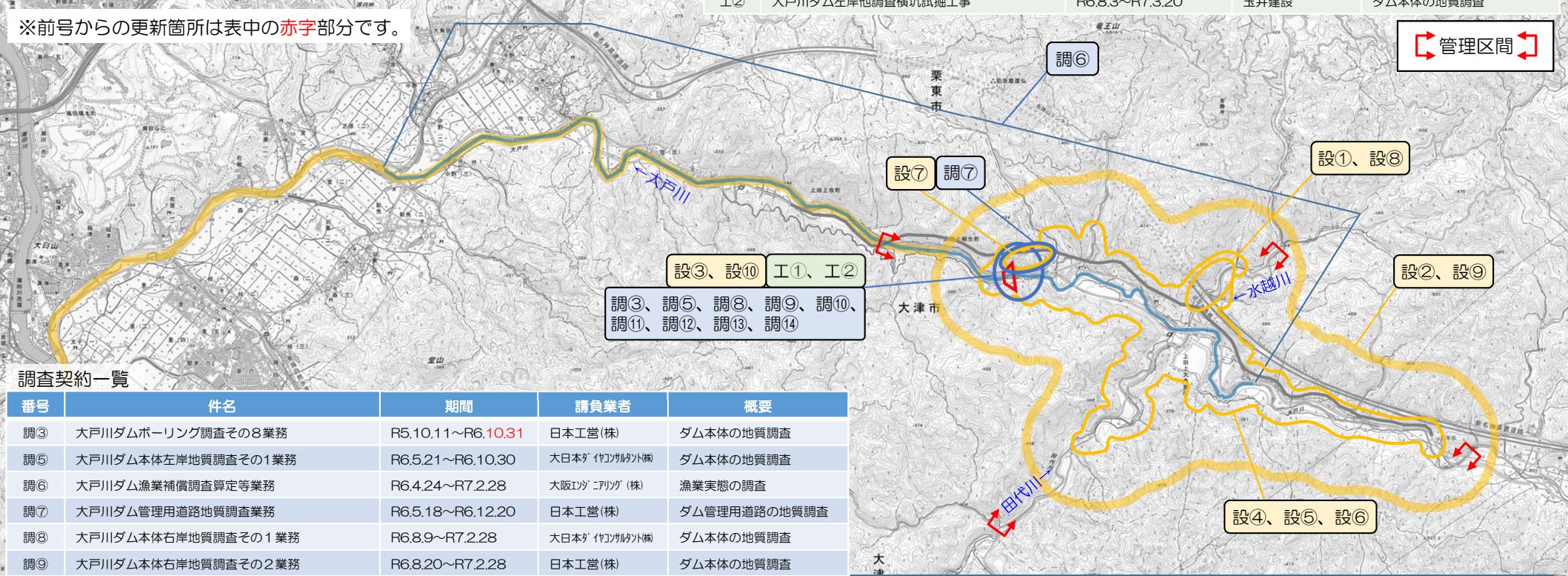
※記載の工事・業務については、主要なもの（維持作業、水理水文調査、事務補助等を除く）を記載しています。

（R6.9.30時点）

工事契約一覧

番号	件名	期間	請負業者	概要
工①	大戸川ダム右岸調査横坑試掘工事	R6.5.14～R6.11.28	(株)広川組	ダム本体の地質調査
工②	大戸川ダム左岸他調査横坑試掘工事	R6.8.3～R7.3.20	玉井建設	ダム本体の地質調査

※前号からの更新箇所は表中の赤字部分です。



調査契約一覧

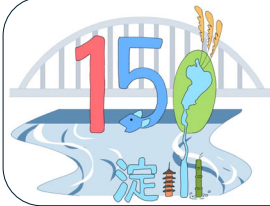
番号	件名	期間	請負業者	概要
調③	大戸川ダムボーリング調査その8業務	R5.10.11～R6.10.31	日本工営(株)	ダム本体の地質調査
調⑤	大戸川ダム本体左岸地質調査その1業務	R6.5.21～R6.10.30	大日本「ヤコフ」社(株)	ダム本体の地質調査
調⑥	大戸川ダム漁業補償調査算定等業務	R6.4.24～R7.2.28	大阪エン「アツ」(株)	漁業実態の調査
調⑦	大戸川ダム管理用道路地質調査業務	R6.5.18～R6.12.20	日本工営(株)	ダム管理用道路の地質調査
調⑧	大戸川ダム本体右岸地質調査その1業務	R6.8.9～R7.2.28	大日本「ヤコフ」社(株)	ダム本体の地質調査
調⑨	大戸川ダム本体右岸地質調査その2業務	R6.8.20～R7.2.28	日本工営(株)	ダム本体の地質調査
調⑩	大戸川ダム本体右岸地質調査その3業務	R6.8.10～R7.2.28	(株)ニ「ジ」	ダム本体の地質調査
調⑪	大戸川ダム本体右岸地質調査その4業務	R6.8.20～R7.2.28	川崎地質(株)	ダム本体の地質調査
調⑫	大戸川ダム本体右岸地質調査その5業務	R6.9.13～R7.4.30	(株)ニ「ジ」	ダム本体の地質調査
調⑬	大戸川ダム本体河床部地質調査業務	R6.9.12～R7.4.30	大日本「ヤコフ」社(株)	ダム本体の地質調査
調⑭	大戸川ダム本体左岸地質調査その2業務	R6.9.14～R7.4.30	(株)建設技術研究所	ダム本体の地質調査

設計・検討契約一覧

番号	件名	期間	請負業者	概要
設①	大戸川ダム栗東信楽線北部道路詳細設計業務	R5.5.2～R6.12.27	中央復建「コ」社(株)	付替栗東信楽線の設計
設②	大戸川ダム環境影響とりまとめ業務	R5.7.27～R6.12.20	日本工営(株)	環境影響のとりまとめ
設③	大戸川ダム水理検討業務	R6.2.1～R7.3.21	国立研究開発法人土木研究所	ダムの洪水吐や放流能力に関する検討
設④	大戸川ダム実施設計業務	R6.3.5～R6.12.13	(株)ニ「ジ」	ダム本体の詳細設計他
設⑤	大戸川ダム地質とりまとめ業務	R6.3.9～R7.2.10	(株)ニ「ジ」	地質調査結果のとりまとめ他
設⑥	大戸川ダム地域振興検討業務	R6.4.16～R6.12.20	(株)オ「ン」社(株)	事業用地利活用検討
設⑦	大戸川ダム管理用道路詳細設計他業務	R6.5.21～R7.3.28	(株)オ「ン」社(株)	ダム管理用道路の詳細設計
設⑧	大戸川ダム栗東信楽線北部道路落石対策工機詳細設計業務	R6.5.8～R7.2.28	(株)工「ト」社(株)	落石対策、トンネル設備の詳細設計等
設⑨	大戸川ダム環境調査結果とりまとめ業務	R6.6.19～R7.2.28	日本工営(株)・(財)水源環境「」	環境調査結果のとりまとめ
設⑩	大戸川ダム基礎岩盤特性解析業務	(契約手続中)		ダム本体の地質解析

【コラム】淀川改修150年と大戸川ダム建設事業

✓ 2024年は、淀川の近代的な河川改修が始まって150年の節目の年であることから、近畿地方整備局では、ロゴマークを定め、10月2日に公開しました。



～ロゴコンセプト～

- ✓ 「橋」は、地域のつながりや流域に住む人々の暮らしを表現。
- ✓ 「150」は、河川改修の進捗による安全度の向上（赤→青）や、流域の豊かな自然環境（魚、琵琶湖とヨシ）を表現。
- ✓ 「淀川」は、「淀」が淀川、「川」が五重の塔で京都市内を流れる桂川、琵琶湖から流れ出る瀬田川・宇治川、伊賀忍者すいとんの術で木津川をそれぞれ表現。

✓ 淀川改修の始まりは1874(明治7)年、大阪港の整備に連動して、京都(伏見)・大阪間を大型蒸気船が航行できるよう、水の流れの制御や堆砂対策等によって水深を確保する工事でした。

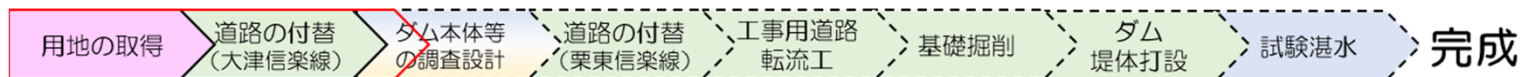
✓ このとき活躍したのが、オランダ人技師、デ・レーケです。淀川本川の堆砂対策には、上流の山々からの砂の流出を防ぐことが重要であると説き、植樹や砂防堰堤の建設を指導しました。大戸川流域の田上山でも近代的な砂防・治山が行われるようになります。

✓ その後、淀川の整備の主眼は、京都・大阪間の舟運から、琵琶湖から河口までの水系全体の治水へと移り、河川改修、ダムや堰の建設、砂防・治山などが行われてきました。

✓ 大戸川ダムは、上流域での出水を受け止めることで、下流域も含む淀川水系全体の治水に寄与します。淀川の整備150年の歴史の流れの中で進められている事業です。



◆大戸川ダムの進捗状況（令和6年9月末時点）



イマココ

工 事

- ✓ 工①では、9月10日より1つ目の調査横坑（延長70m）の掘削を開始し、9月末時点で24m掘り進みました。



- ✓ 工②では、横坑掘削箇所まで資機材を運搬するためのモノレールや索道など、仮設工の検討を進めています。

調 査

- ✓ ダム管理用道路の詳細設計に必要な地質調査を行う調⑦では、調査地点まで資機材を運搬するためのモノレールを敷設し、一部の調査地点では掘進を開始しました。
- ✓ 8月に契約した地質調査業務（調⑧～⑪）では、10月中の現場着手に向けて準備を進めています。
- ✓ ダムサイトの地質調査業務として、新たに調⑫～⑭を契約しました。

設計・検討

- ✓ 設②、設⑨では、これまで実施してきた環境調査結果のとりまとめ、ダム建設による生態系への影響の予測、ダム建設後の環境保全に向けた計画の検討を行っています。10月8日の第3回大戸川ダム環境保全委員会では、これらについて学識者に意見をいただきます。

【発行】



国土交通省 近畿地方整備局
大戸川ダム工事事務所

〒520-2144 滋賀県大津市大萱1-19-32
TEL 077-545-5675（代表） FAX 077-543-5340
事務所webサイト <https://www.kkr.mlit.go.jp/daido/>
X（旧 Twitter） @daidogawadam



webサイト



X（旧 Twitter）



大戸川ダム

検索